

# かながわの地域日本語教育

## 令和 5 年度事業の方向性（案） について

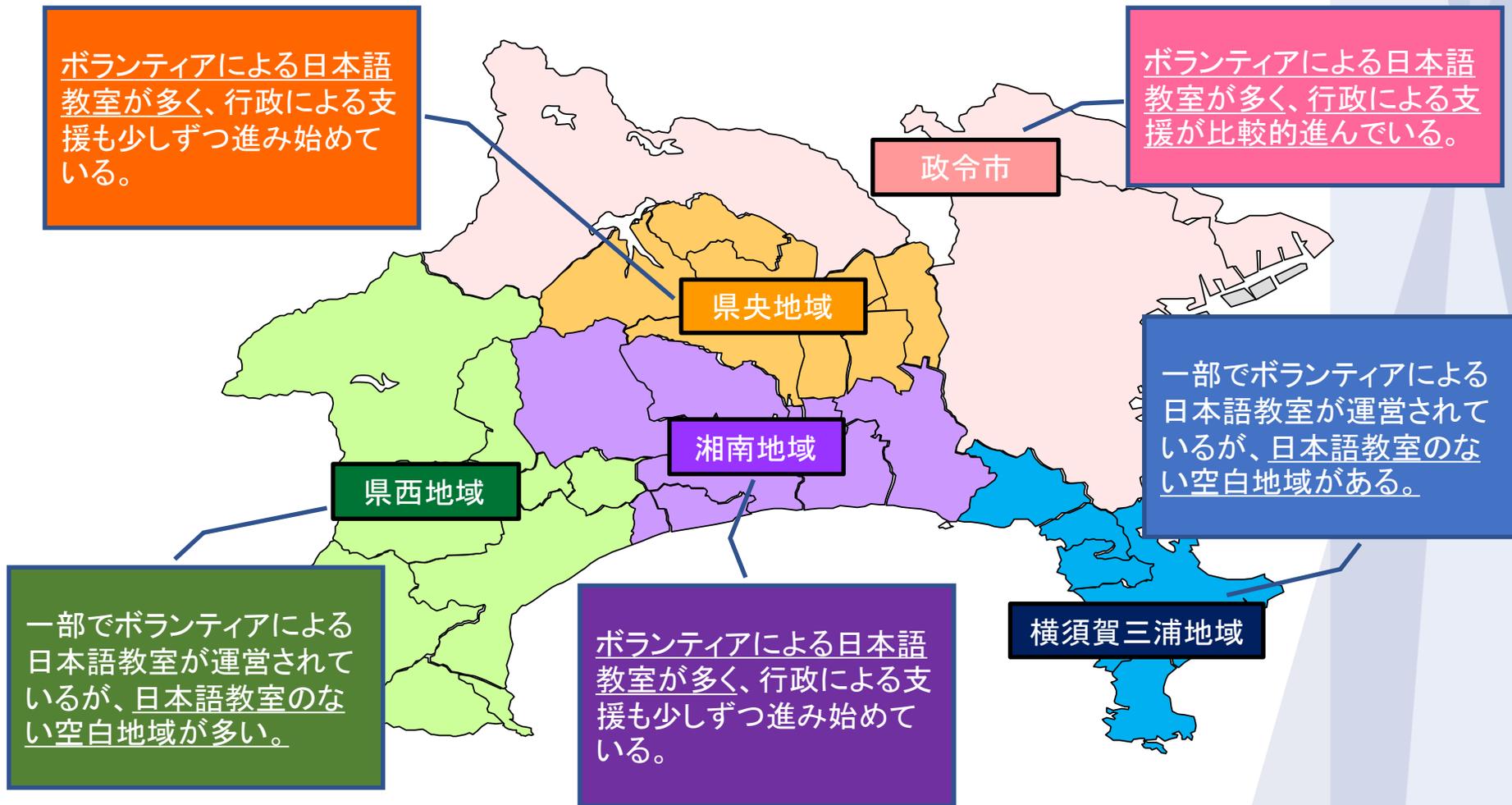
神奈川県国際文化観光局国際課

令和 4 年 8 月 18 日

# 課題へのこれまでの取組

課題	これまでの取組
<p><u>指導方法や水準にばらつきがあるなど、ボランティアが日本語初心者に教えるのは難しい。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本語初心者向けの日本語講座の実施（県モデル事業）</li></ul>
<p>ボランティアによる<u>日本語教室は、</u>担い手の不足・高齢化、学習ニーズの多様化、教室の場所の確保が困難等、<u>多くの課題を抱えている。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本語ボランティアの養成・研修の実施（市町村支援）</li><li>・ 日本語教室等の運営改善等に係る支援（市町村支援）</li><li>・ 日本語学習支援に関する研修の実施</li><li>・ 地域日本語教育コーディネーターによる支援</li></ul>
<p><u>外国籍県民等のニーズを十分に把握できていない。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査の実施（市町村支援）</li></ul>
<p><u>施策を行うためのノウハウや財政面などに課題がある。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市町村補助金の創設</li><li>・ 市町村等連絡調整会議・研修の実施</li><li>・ 日本語ボランティアの養成・研修の実施（市町村支援）【再掲】</li><li>・ 日本語教室等の運営改善等に係る支援（市町村支援）【再掲】</li></ul>
<p><u>外国籍県民等へ日本語学習に関する情報が届いていない。</u></p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 日本語学習支援に係る相談対応・情報提供</li><li>・ 地域日本語教育に関するフォーラムの実施</li><li>・ 地域日本語教育コーディネーターによる働きかけ</li></ul>

# 【参考】 地域日本語教育の各地域の状況



地域によって外国籍県民等への日本語教育支援に偏りがある

# これまでの取組の成果と課題

取組	成果	課題
<p>日本語初心者向けの日本語講座の実施（県モデル事業）</p> 	<p>受講者の満足度も高く地域の日本語教室につなげられるレベルまでの役割を果たせた。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>市町村での実施に向けての支援</u></li><li>・ <u>生活オリエンテーションの内容</u></li></ul>
<p>日本語ボランティアの養成・研修の実施（市町村支援）</p>	<p>R3は5市が活用し、R4の市独自の研修への実施につながった。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>市町村の状況・ニーズに合わせた活用の呼びかけ</u></li></ul>
<p>日本語教室等の運営改善等に係る支援（市町村支援）</p>	<p>各市の日本語教室に共通する運営面の課題解決に一定程度貢献できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>複数教室における課題解決につながる支援</u></li></ul>
<p>日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査の実施（市町村支援）</p>	<p>R3は3市町が活用し、今後、市町が行う施策に向けて基礎情報を提供することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <u>市町村の状況・ニーズに合わせた活用の呼びかけ</u></li></ul>

# これまでの取組の成果と課題

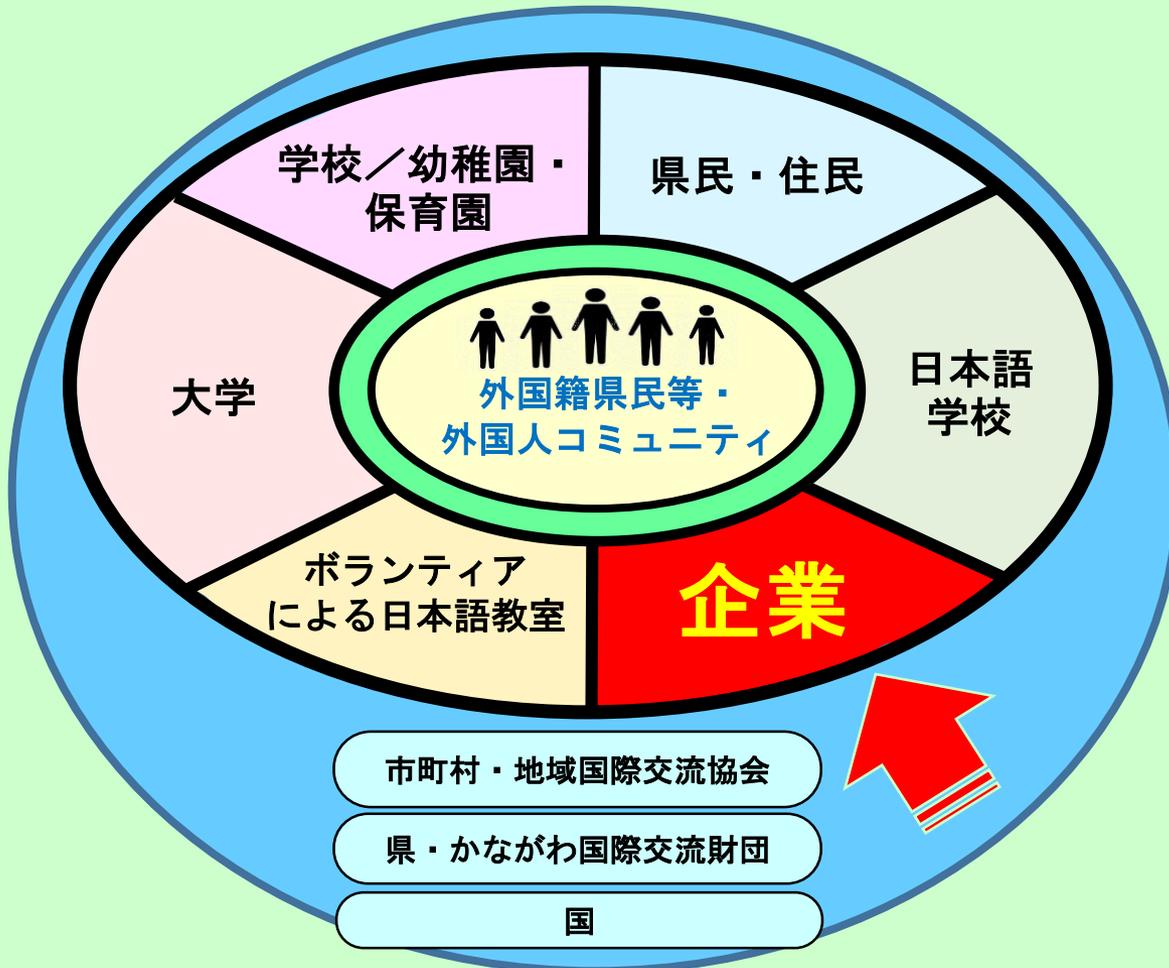
取組	成果	課題
<p data-bbox="48 311 521 404"><b>日本語学習支援に関する研修の実施</b></p> 	<p data-bbox="579 311 1139 504">受講者の満足度も高く日本語学習支援者（リーダー的人材）のネットワークづくりに貢献できた。</p>	<ul data-bbox="1226 311 1854 504" style="list-style-type: none"><li>・オンライン研修となった場合、教室間・地域間のネットワークづくりにつながりにくい。</li><li>・<b><u>受講者の人材活用の方法</u></b></li></ul>
<p data-bbox="48 686 434 725"><b>市町村補助金の創設</b></p>	<p data-bbox="579 686 1139 825">市町村への財政的支援を行い市町村の自主的な取組を推進することができた。</p>	<ul data-bbox="1226 686 1854 879" style="list-style-type: none"><li>・自主的な取組を推進している市町村がある一方で、外国籍県民が少なく<b><u>取組が難しい地域との支援の差が大きくなっている。</u></b></li></ul>
<p data-bbox="48 1013 511 1106"><b>市町村等連絡調整会議・研修の実施</b></p>	<p data-bbox="579 1013 1139 1206">県と市町村、市町村相互のネットワークづくりや、日本語教育を支える人材育成を行うことができた。</p>	<ul data-bbox="1226 1013 1854 1206" style="list-style-type: none"><li>・市町村により取組に違いがあり、状況の変化・職員の異動等もあるため、<b><u>きめ細かく継続した情報共有が必要。</u></b></li></ul>

# これまでの取組の成果と課題

取組	成果	課題
<p data-bbox="48 292 479 385"><b>日本語学習支援に係る相談対応・情報提供</b></p> 	<p data-bbox="550 292 1188 535">学習者や学習支援者への相談対応やポータルサイトによる情報提供、アウトリーチによるオンライン教室開催支援等、学習支援へのアクセスを促進した。</p>	<ul data-bbox="1236 292 1874 485" style="list-style-type: none"><li>・ 支援を必要とする外国籍県民等や支援者に<u>どのように情報が届いているか、より具体的に把握することが必要。</u></li></ul>
<p data-bbox="48 628 479 721"><b>地域日本語教育に関するフォーラムの実施</b></p>	<p data-bbox="550 628 1188 771">県民に日本語教育や多文化共生への理解を深める機会を提供することができた。</p>	<ul data-bbox="1236 628 1874 721" style="list-style-type: none"><li>・ <u>フォーラムのテーマ設定と形式</u>（オンライン・対面）</li></ul>
<p data-bbox="48 856 479 999"><b>地域日本語教育コーディネーターによる支援・働きかけ</b></p> 	<p data-bbox="550 856 1188 1049">市町村への各種取組の支援や情報提供等を働きかけたことで、県内の地域日本語教育の取組を推進した。</p>	<ul data-bbox="1236 856 1874 1256" style="list-style-type: none"><li>・ 地域日本語教育の課題に対する市町村の理解は進んでいるが、地域によっては、<u>具体的な取組・事業化につなげることが難しい現状がある。</u></li><li>・ 市町村の状況・体制により、<u>地域国際交流協会への直接的な支援が必要となるケースがある。</u></li></ul>

# 令和5年度に向けての課題

専門委員会報告書で「地域日本語教育が連携を図る関連分野」として整理された「労働分野(企業)」との連携が図れていない。



かながわ国際政策推進懇話会  
専門委員会(地域日本語教育)報告書

かながわ国際政策推進懇話会専門委員会(地域日本語教育)  
令和3年3月

# 令和5年度事業の方向性の検討

「これまでの取組の成果と課題」、「令和5年度に向けての課題」を踏まえ、次の取組について、令和5年度の方向性を検討する。

取組	内容
取組 1	日本語初心者向けの日本語講座の実施（県モデル事業）
取組 2	市町村支援事業 （日本語ボランティアの養成・研修の実施、日本語教室等の運営改善等に係る支援、日本語教室等の運営改善等に係る支援）
取組 3	地域国際交流協会への支援
取組 4	労働分野と連携した取組

# 令和5年度事業の方向性(案)

## 取組1 日本語初心者向けの日本語講座の実施(県モデル事業)

### 現状・課題

県モデル事業として日本語初心者向けの日本語講座を実施してきたが、市町村での実施に向けては、教室立上げのノウハウなどの具体的な支援が必要となっている。

### 令和5年度の方向性

県モデル事業を継続するだけでなく、市町村に対して、教室立上げの支援を行っていく。

# 令和5年度事業の方向性(案)

**取組2** **市町村支援事業**  
(日本語ボランティアの養成・研修の実施、日本語教育に対する実態把握・ニーズ調査の実施、日本語教室等の運営改善等に係る支援)

## 現状・課題

市町村補助金を活用して、市町村支援事業から、市町村が主体的に取り組む事業に移行している市町村が増えている一方で、取組が進まない市町村に対しては、市町村の状況、ニーズに合わせたきめ細かな活用の呼びかけが必要となっている。

## 令和5年度の方向性

各市町村の状況やニーズ、新たな日本語教室の課題等を踏まえ、活用しやすい支援の組立てを柔軟に行いながら、市町村支援事業を継続する。

※市町村によって支援に偏りがあるため、引き続き、県がフォローしながら進める。

# 令和5年度事業の方向性(案)

## 取組3 地域国際交流協会への支援

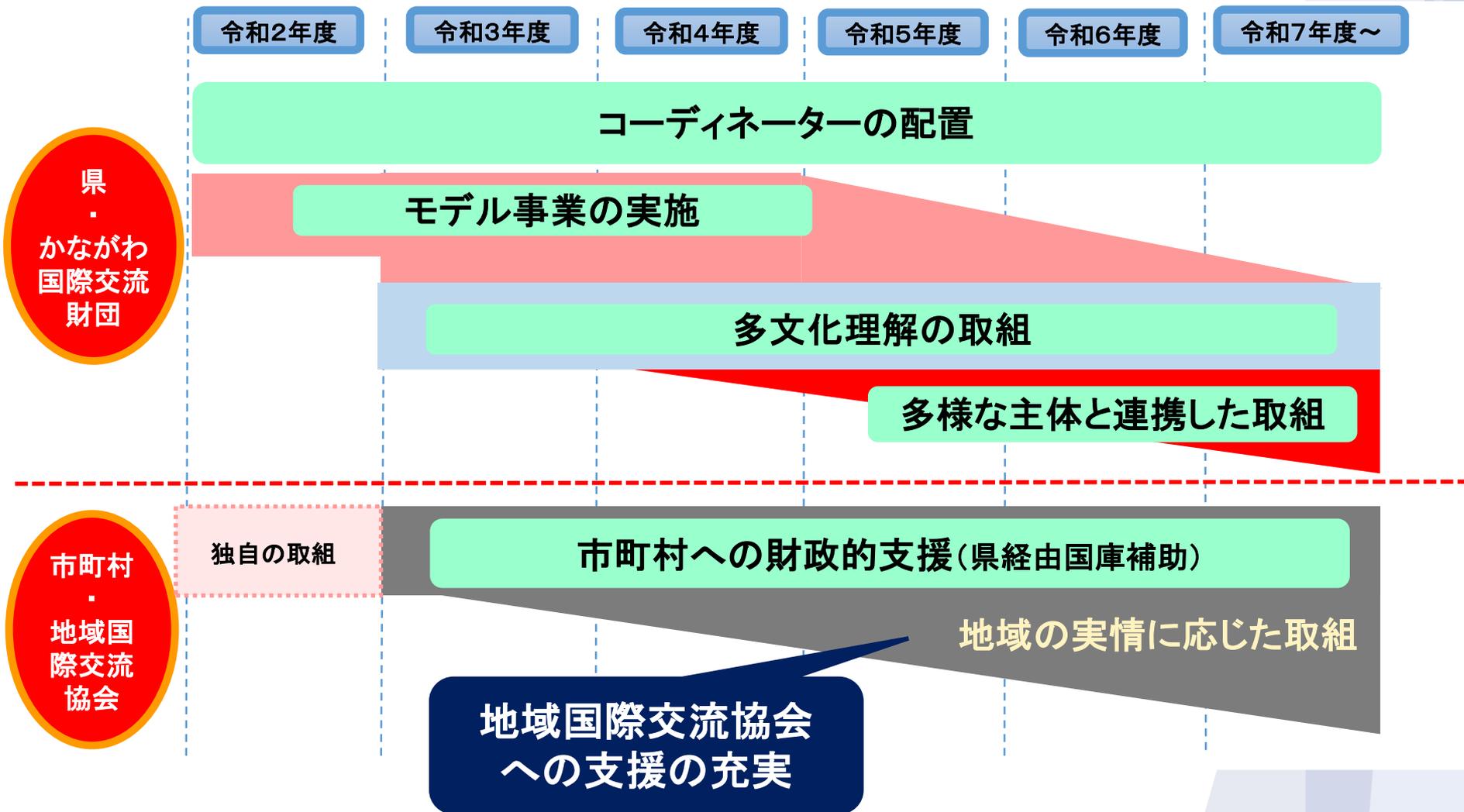
### 現状・課題

市町村の状況・体制により、市町村職員が地域日本語教育に関する取組に関われない場合があり、日本語教育に関する地域国際交流協会への直接的な支援が必要となるケースがある。

### 令和5年度の方向性

地域の実情により、地域国際交流協会の主体的な日本語教育への関わりが必要であるため、地域国際交流協会が主体的に取り組めるようノウハウの提供等の支援を行っていく。

# 【参考】 県と市町村等との連携（イメージ図）



# 令和5年度事業の方向性(案)

## 取組4 労働分野と連携した取組

### 現状・課題

専門委員会報告書で「地域日本語教育が連携を図る関連分野」として整理された「労働分野」との連携が図れていない。

### 令和5年度の方向性

日本語教育推進法が施行(R1.6)され、事業主の責務(日本語学習に関する支援)が規定されたが、その意識について、事業者の間で格差があり、雇用する外国人に対する対応が異なっている状況があるため、企業団体と連携した取組を行う。

# 令和5年度事業の方向性(案)

## 取組4 労働分野と連携した取組

### 【参考】事業イメージ

事業案	企業と連携した日本語講座
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>外国人労働者向けの日本語講座</b> (生活オリエンテーション等を組み込んだ専門家による集中型の初心者向け日本語講座)</li><li>・ <b>日本人従業員向けの「やさしい日本語」講座</b></li></ul>
有効性	日本語教育に関して、行政と企業等が切れ目なく連携することで、支援の幅が広がり、外国籍県民をとりまく様々な課題に対するセーフティネットの一助となることが期待できる。
期待する効果	企業等も運営に関わることにより、その実情に応じた講座内容(ニーズが高い生活オリエンテーションのテーマ等)にでき、事業主の責務である「日本語学習に関する支援」について理解を深めてもらうことが期待できる。 また、モデル講座として、参考事例を県域に普及し、外国籍県民等への支援の幅を広げる契機とすることが期待できる。

# 令和5年度事業の方向性(案)

上記の取組1～4以外の次の取組についても、県に期待される役割を踏まえ、令和5年度も継続して実施する。

- ・日本語学習支援に関する研修の実施
- ・市町村補助金
- ・市町村等連絡調整会議・研修の実施
- ・日本語学習支援に係る相談対応・情報提供
- ・地域日本語教育に関するフォーラムの実施
- ・地域日本語教育コーディネーターによる支援・働きかけ

## 【参考】期待される役割

「かながわの地域日本語教育の施策の方向性」より

### 県・かながわ国際交流財団

- 国の政策と各市町村や地域の実情に応じた調整・支援
- 広域で行うべき人材育成、ネットワークづくり
- 地域日本語教育に関する情報の収集と提供、相談対応
- 県民の多文化理解の推進 等

### 市町村・市町村国際交流協会

- 外国籍県民等の日本語教育ニーズの把握
- 地域の実情や生活ニーズに合わせた日本語教育の実施
- ボランティアによる日本語教室への支援
- やさしい日本語の普及など市民への啓発